

会議名 令和3年度第2回広報広聴検討会議

開催日 令和4年3月24日(木)	会議時間	開会 14:00 閉会 15:00
会議場所 役場 町民ホール	記録者	企画環境課広聴広聴係 会計年度任用職員 四條 楓弥
出席者 委員：小坂みゆき委員(座長)、沼尻賢治委員、 マイケル・ダベンポート委員、ランド千佳委員、山田友理子委員 町：企画環境課長、広報広聴係、総務課参事		

会議日程

- (1) 広報広聴活動全般について
- (2) 新しい情報発信づくり(NOTE 開設)
- (3) その他

会議内容

■課長あいさつ、総務課参事紹介

■議事(小坂座長による進行)

大野係長より広報広聴全般について報告

- ・広報誌の単価が高くなっているがこれにはなにか理由があるか

(大野) ページ数の増加と紙代の高騰が原因。

(高瀬) 原材料の価格は中国の経済状況と関わっており、様々な要因で中国由来の原材料が高騰しているため、広報誌の単価も高騰している。

- ・広報誌の印刷・製本を行っているのは道内企業か

(大野) 道内企業。R 元年以前は今とは別の会社をお願いしていたが、そちらも道内企業。H30 年から R 元年で広報誌の単価が高騰しているが、このタイミングで印刷会社が変わったことも要因。

(高瀬) 以前の印刷会社は様々な努力で経費を抑えていただいたが、納期などの関係で今の印刷会社へ発注を変更することとなった。

- ・広報誌はニセコ町のホームページなどでも観られるのか。

(大野) 町ホームページへ PDF データでアップロードしているため見ることができる。

(高瀬) 今年度、「広報かりぶと」時代の古い広報誌も PDF にしてアップロードした。ただ、抜けている部分もあるため今後充実させていく予定。

- ・広報誌の特集テーマに何か基準はあるのか。できればテーマには日々の暮らしに寄り添ったものがあるとよい。

(大野) 特集テーマ選出の基準などはない。各担当者や町長からの依頼があったもの等の特集しているほか、担当者目線で必要そうだと判断したものについて特集している。以前、「町内に新しくできたカフェなどを特集してほしい」という要望があったが、公共の刊行物なので一企業に偏る可能性のある情報を掲載するのは難しい。

- ・特集テーマの候補として、ニセコ町に暮らしている外国人の様子などを知りたいので、そこにフォーカスを当てた記事などがあるとうれしい。他にも、コミュニテースクールや放課後子ども教室などの学校外での子ども教育について、大人の習い事・趣味の教室

などの文化的活動について、ニセコハイツやデイサービスの一日の行動をお伝えするもの等を提案したい。

・まちづくり懇談会について、今年度中止となった地域もあったが、今後行う予定はあるか。

(大野) まちづくり懇談会は年に一度、11月頃～12月頃の時期に行っている。要望のあった地区のみでの開催となったが、今回開催できなかった会場については、感染状況を鑑みて今年度中に行う予定だったが状況が悪化し開催できなかった。来年度は実施したい。

・まちづくり懇談会で町長が話していた内容などは見ることはできるか。

(大野) ホームページに懇談会での配布資料を掲載している。

・町公式LINEは町外者も利用できるとのこと。以前観光関連の事業で紙媒体によるアンケート集計を行ったが、20代などの若い世代からの回答率がとても悪かった。LINEであればそういった世代の利用率も高く利用しやすいため、役場で行っているアンケートなどで活用できると思う。公式アカウントの登録者促進を行ってほしい。

・LINEだからこそその情報発信ができるようパーソナリティのようなものを出して既存SNSと差別化を図ってほしい。

●新しい情報発信づくり (NOTE 開設)

総務課参事より、3月より運用を開始したSNS「NOTE」について説明

・素晴らしいことだと思うが、ほかのSNSと連携するとよい。LINEの登録者獲得につなげられるよう誘導できる。

・最近インターネット上でこの投稿記事を見た。今は総務課参事が一人で記事の執筆を行っているとのことだが、本人がいなくなった後はどのように運用するのか。

(赤星) 次に来る地域活性化企業人に引き継いで管理していただく。

・ターゲット層はどこか

(赤星) 国内向けだが、町外の若い世代をターゲットとしている。ニセコ町のことを知ってもらうことをイメージしている。

・初めて「NOTE」というものを見た。このSNSがどういったものなのかまだよくわからない。どんな人が読んでいて、もっと読んでもらうにはどうしたらいいのだろうか。

(赤星) ほかのSNSとは違い拡散力はないため、閲覧者を他のSNSから誘導する必要はある。他にも記事閲覧数を上げるため、インターネット上での検索にかかりやすくするよう、たくさんの記事を用意する。

・英語での投稿はできないのか。短い文章でもいいので、英訳がついているとよいと思う。

(大野) 役場の国際交流員などをお願いしてみるなどの手段はある。

・ほかのSNSと同じような内容ではなく、趣向や投稿内容を変えないとどれを見ていいのかわからなくなる。

・SNS運用について先進的な自治体を参考にしたらどうか。

・ほかの自治体だと、SNSの運用は役場ではなく観光協会など周りの組織が力を入れているように感じる。ニセコ町も地域おこし協力隊が積極的に発信している。

・さまざまなSNSがあるが、本当にそのSNSツールで必要な発信なのか見極めたほうがいい。中途半端なことはしないほうがビュー数が伸びると思う。

【次回】

・9～11月ごろ開催。

※会議終了後、120周年記念映像を視聴。